

近代の博覧会と茶の湯 出陳目録

1章 京都と茶道の再生						
番号	作品名	作者等	時代	所蔵者	期間	
					前	後
1	府藩県往復		明治4年(1871)	京都府立京都学・歴史館	○	
2	京都府史第1編 第66号 別部博覧会類1		明治元-7年 (1868-1874)	京都府立京都学・歴史館		○
3	町野長門守伝符状	蒲生家臣(町野長門守)筆	桃山-江戸時代 (16-17世紀)	楽美術館	○	○
4	三彩獅子香炉	田中宗慶(1535-没年不詳)作	文禄4年(1595)	梅澤記念館	○	○
5	芳名記聞		明治元年(1868)	今日庵文庫	○	○
6	立礼之図記	裏千家11代玄々斎(1810-77)筆	江戸-明治時代	今日庵	○	○
7	木地松唐草文炭斗	裏千家11代玄々斎好	江戸-明治時代		○	○
8	兜釜	宮崎寒雉(初代、1628-1712)作	17世紀後半-18世紀前半	今日庵	○	○
9	第一回京都博覧会 博覧会品物目録	神戸源右衛門(生没年不詳) 伊東久兵衛(生没年不詳)出版	明治5年(1872)	乃村工藝社	○	○
10	架鷹図		15-16世紀前半	正伝永源院	○	○
11	夕顔台子	中村宗哲(7代、1798-1846)作	19世紀初	宝鏡寺	○	
12	夕顔釜	大西浄雪(10代、1777-1852)作	19世紀初	宝鏡寺	○	○
13	夕顔真鍮風炉	中川浄益(7代、1796-1859)作	19世紀初	宝鏡寺	○	○
14	常張鉢	中川浄益(7代)作	19世紀初	宝鏡寺	○	○
15	夕顔皆具	中川浄益(7代)作	19世紀初	宝鏡寺	○	○
16	鋳火箸	中川浄益(7代)作	19世紀初	宝鏡寺	○	○
17	夕顔中棗	裏千家10代認得斎(1770-1826)好 中村宗哲(7代)作	19世紀初	宝鏡寺	○	○
18	夕顔溜平棗	裏千家10代認得斎好 中村宗哲(7代)作	19世紀初	宝鏡寺	○	○
19	黒楽天目茶碗	樂旦入(10代、1795-1854)作	19世紀初	宝鏡寺	○	○
20	赤楽天目茶碗	樂旦入(10代)作	19世紀初	宝鏡寺	○	
21	夕顔天目台	裏千家10代認得斎好 中村宗哲(7代)作	19世紀初	宝鏡寺	○	
2章 海外博覧会における日本文化としての茶の湯						
22	『閻龍博覧会報告図記』	久保田米億(1852-1906)著画	明治26年(1893)	奈良県立図書情報館	○	○
23	赤地金襴手桜文香炉	永楽得全(14代、1853-1909)作	明治25年(1892)	東京国立博物館	○	
24	紫交趾牡丹文双耳花入	永楽得全(14代)作	明治25年	東京国立博物館	○	
25	色絵金襴手飛鶴文茶碗	永楽得全(14代)作	明治25年	東京国立博物館	○	
26	色絵金襴手牡丹文茶碗	永楽得全(14代)作	明治25年	東京国立博物館		○
27	色絵金襴手片輪車文茶碗	永楽得全(14代)作	明治25年	東京国立博物館	○	
28	色絵金襴手玩具尽文茶碗	永楽得全(14代)作	明治25年	東京国立博物館	○	
29	色絵金襴手松竹梅七宝繫文茶碗	永楽得全(14代)作	明治25年	東京国立博物館	○	

30	色絵金襴手白梅文茶碗	永楽得全(14代)作	明治25年	東京国立博物館	○	
31	色絵金襴手桜紗綾形文茶碗	永楽得全(14代)作	明治25年	東京国立博物館		○
32	色絵金襴手扇散文茶碗	永楽得全(14代)作	明治25年	東京国立博物館		○
33	色絵金襴手几帳桜文茶碗	永楽得全(14代)作	明治25年	東京国立博物館		○
34	色絵金襴手蛇籠竹文茶碗	永楽得全(14代)作	明治25年	東京国立博物館		○
35	褐釉天目茶碗	永楽得全(14代)作	明治25年	東京国立博物館	○	○
36	交趾釉花塙図水指	永楽得全(14代)作	明治25年	東京国立博物館	○	○
37	色絵金襴手四仙図建水	永楽得全(14代)作	明治25年	東京国立博物館		○
38	素焼八角杓立	永楽得全(14代)作	明治25年	東京国立博物館		○
3章 近代美術工芸と伝統						
39	巨学之句	中澤岩太(1858-1943)筆	昭和6年(1931)	京都工芸繊維大学 美術工芸資料館	○	
40	宝珠図	中澤岩太筆	昭和6年	京都工芸繊維大学 美術工芸資料館		○
41	『黙語図案集』	黙語会(代表池邊義象)編	明治41年(1908)	京都工芸繊維大学 美術工芸資料館	○	○
42	朝顔時絵手箱	杉林古香(1881-1913)作 浅井忠(1856-1907)図案	明治42年(1909)	京都工芸繊維大学 美術工芸資料館	○	
43	朱塗菓子皿	杉林古香作 浅井忠図案	明治35-大正2年 (1902-1913)	京都工芸繊維大学 美術工芸資料館	○	○
44	燕子花文建水	錦光山宗兵衛 (7代、1868-1927)作	明治時代	京都工芸繊維大学 美術工芸資料館	○	○
45	祥瑞写水指	初代宮永東山(1868-1941)作	明治-昭和6年	京都工芸繊維大学 美術工芸資料館	○	○
46	染付牡丹桃花花瓶 一对	京都高等工芸学校 陶磁器科教室作	昭和8年(1933)	京都工芸繊維大学 美術工芸資料館	○	○
47	菊文皿	清水六兵衛 (4代、1848-1920)作	明治40年(1907)	京都工芸繊維大学 美術工芸資料館		○
4章 女性と茶の湯						
48	女礼式之内 抹茶ノ部	安達吟光(1853-1902)画	明治23年(1890)	今日庵文庫		○
49	当世風俗通 茶の湯	宮川春汀(1873-1914)画	明治32年(1899)	今日庵文庫	○	
50	幻燈写心競 茶の湯	楊洲周延(1838-1912)画	明治23年	今日庵文庫	○	
51	真美人	楊洲周延画	明治30年(1897)	今日庵文庫		○
52	茶の湯日々草	水野年方(1866-1908)画	明治29-30年 (1896-97)	今日庵文庫	○	○

※前期後期で一部作品の入れ替えや頁替えを行います。

※都合により展示作品が変更となる場合があります。

※作品の名称は、本展での表記の統一をたもつために、所蔵者の公表する作品名称とは違う名称を用いたものがあります。

※No.10 架鷹図は8幅対のうち、4幅ずつを前期後期に分けて展示を行います。

※No.11~17、19、21の作品はコンディションを考慮し、1月7日(火)~13日(月)の期間に限って台子に諸道具を組んで展示を行います。
それ以外の期間は個別に展示を行います。

※後期展示ではNo.17 夕顔中棗を2月28日(金)~3月15日(日)、No.18 夕顔溜平棗を3月17日(火)~29日(日)の期間に展示を行います。